

**Always
Smiling,
Orthodontics !**



**株式会社アソインターナショナル
2025年6月期決算説明資料**



2025年8月8日(金)



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

東京証券取引所スタンダード市場
【証券コード9340】



2025年6月期決算概要



連結売上高3,796百万円、前年同期比251百万円増収 (+7.1%)
同営業利益658百万円、同113百万円増益 (+20.8%)
同経常利益631百万円、同76百万円増益 (+13.7%)
同当期純利益438百万円、同52百万円増益 (+13.5%)

**売上高・利益とも
過去最高更新**

売上高

- ①国内売上高6.8%増収、社会的な審美意識の高まり、未病改善取組拡大を背景に矯正歯科治療のニーズは引き続き堅調に推移
アライナー(マウスピース型)矯正がニーズを掘り起こし、新規患者の増加傾向は継続
- ②デジタル製造矯正装置前年比9.3%増収、デジタル比率37.4%、特にIDB(インダイレクトボンディング)が堅調
動的矯正後のリテーナー(保定装置・アナログ)も受注堅調継続
商品売上高15.8%増収、LuxCreo社、Formlabs社3Dプリンター販売好調、関連レジン(液体樹脂)の販売も堅調
- ③海外売上高13.5%増収、海外売上高比率は通期4.9% (前期4.6%)、海外事業部売上高は+57.2%増収
連結売上高未達(達成率99.2%)は米国ハワイ州の売上高減収が要因(前期比-7百万円、-6.4%)

利益

- ①売上総利益：製品売上総利益率の向上により商品売上構成上昇分(利益率低下要因)を相殺し前年並みの利益率となる(+7.4%)
- ②営業利益：売上高販管費比率低下(29.4%→27.6%)、営業利益率は17.3%へ改善(1.9%改善)、20.8%増益
- ③経常利益：為替差損等計上により経常利益は13.7%増益に留まる
- ④当期純利益：特別損失(貸倒引当金)の計上により当期純利益は13.5%増益

主なトピック

- ①リアルセミナー活動によるデジタル製品推進を継続、KOLを招いたセミナーの実施を通年継続
- ②継続した北米外交 (2024年8月、2025年1月、4月) を実施、UCSFに続きUTHealth Houston(テキサス大学)の成果
- ③LuxCreo社との資本業務提携、同社レジン材料は国内医療機器認証を受け、LuxClear(形状記憶アライナー)正式ローンチ

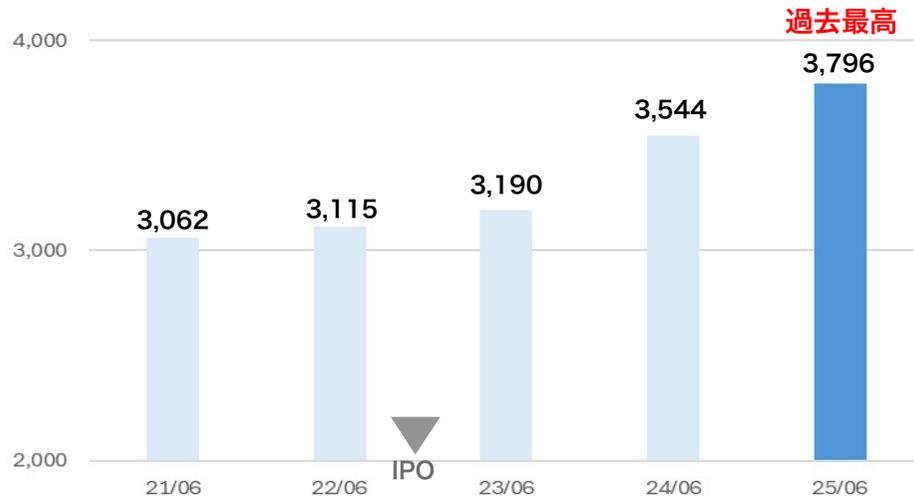
2025年6月期通期損益計算書サマリー・予算対比

(単位：百万円)

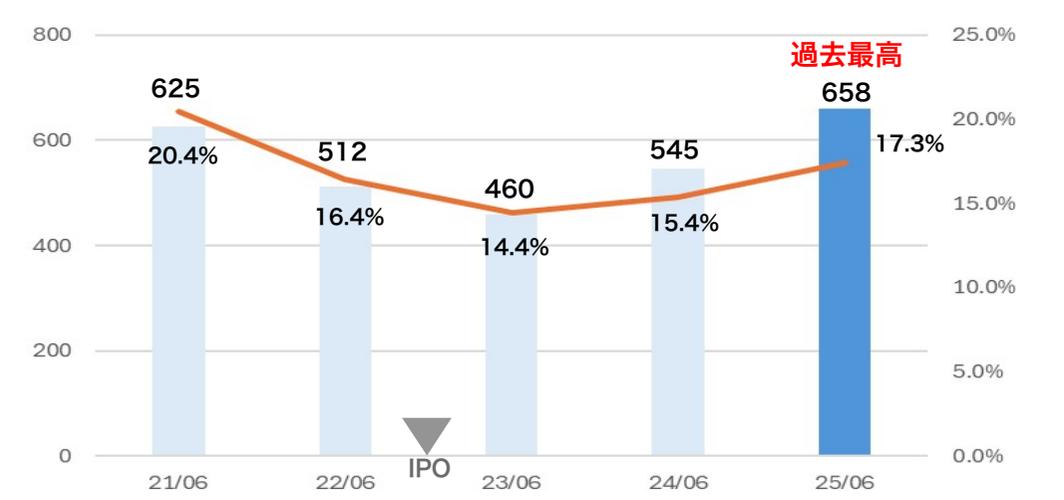
科目	2024年6月期 (2023年7月-2024年6月)		2025年6月期 (2024年7月-2025年6月)		前年同期比		2025年6月期計画 (2024年8月13日公表)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比	金額	達成率
売上高	3,544	100.0%	3,796	100.0%	+251	+7.1%	3,828	99.2%
売上原価	1,957	55.2%	2,091	55.1%	+134	+6.9%	-	-
売上総利益	1,587	44.8%	1,704	44.9%	+117	+7.4%	-	-
販売費及び一般管理費	1,042	29.4%	1,046	27.6%	+4	+0.4%	-	-
（うち人件費）	561	15.9%	567	14.9%	+5	+1.0%	-	-
営業利益	545	15.4%	658	17.3%	+113	+20.8%	620	106.2%
営業外収益	20	0.6%	15	0.4%	-5	-24.9%	-	-
営業外費用	10	0.3%	42	1.1%	+31	+299.7%	-	-
経常利益	555	15.7%	631	16.6%	+76	+13.7%	618	102.2%
特別利益	0	0.0%	-	-	-0	-100.0%	-	-
特別損失	-	-	22	-	+22	-	-	-
税調前当期純利益	555	15.7%	608	16.0%	+53	+9.5%	-	-
法人税等	173	4.9%	172	4.5%	-1	-0.9%	-	-
法人税等調整額	-4	-0.1%	-1	-0.1%	+2	-54.5%	-	-
当期純利益	386	10.9%	438	11.6%	+52	+13.5%	420	104.4%
減価償却費(製造原価+販管費)	46	1.3%	44	1.2%	-1	-4.3%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	39.8		44.9		-		-	
1株当たり純資産(円)	282.9		299.3		-		-	
自己資本利益率	14.8%		15.4%		-		-	
為替レート								
ドル	149.25		149.75		+0.50		150.00	
ユーロ	161.39		162.72		+1.33		165.00	

連結売上高・営業利益・当期純利益・純資産・自己資本利益率の推移

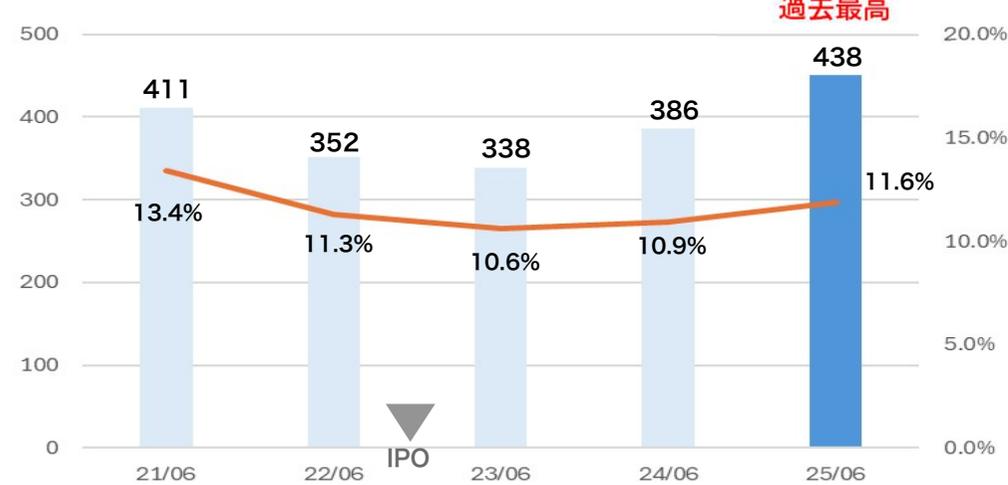
◆売上高



◆営業利益・売上高営業利益率



◆当期純利益・売上高当期純利益率



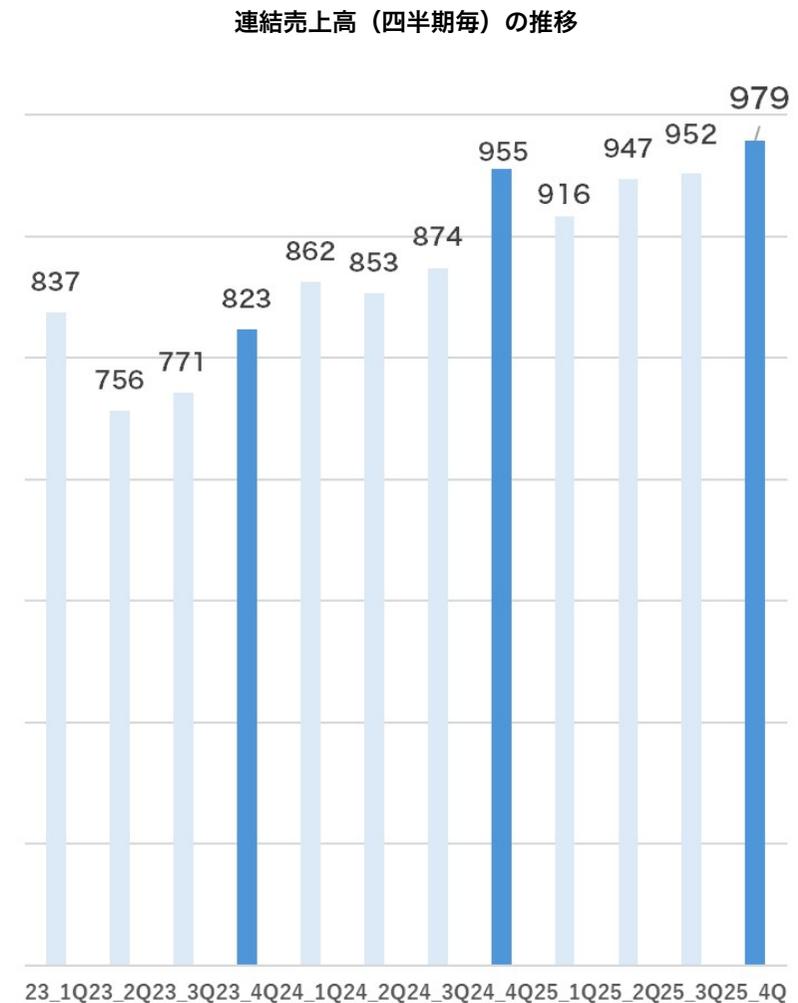
◆期末純資産・自己資本利益率(ROE)



前四半期比較と四半期売上高推移

四半期過去最高収入更新、売上高2.6%増収、営業利益9.6%増益、四半期純利益19.9%減益(特損・法人税の影響) (単位：百万円)

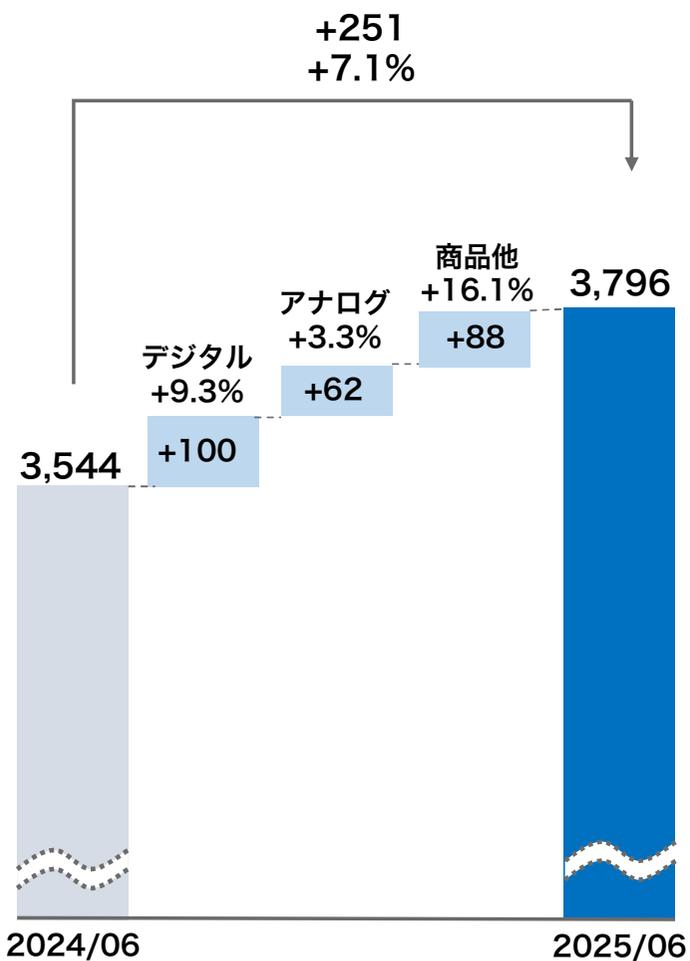
科目	2024年6月期第4四半期 (2024年4月-6月)		2025年6月期第4四半期 (2025年4月-6月)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	955	100.0%	979	100.0%	+24	+2.6%
売上原価	512	53.6%	515	52.6%	+3	+0.6%
売上総利益	442	46.4%	464	47.4%	+21	+4.8%
販売費及び一般管理費	258	27.1%	262	26.8%	+3	+1.4%
(うち人件費)	146	15.3%	144	14.8%	-2	-1.4%
(うち減価償却費)	5	0.6%	4	0.5%	+0	-11.6%
営業利益	184	19.3%	202	20.6%	+17	+9.6%
営業外収益	7	0.8%	7	0.7%	+0	-9.3%
営業外費用	4	0.4%	9	0.9%	+4	+120.5%
経常利益	188	19.7%	200	20.5%	+12	+6.4%
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	22	2.3%	+22	-
税調前四半期純利益	188	19.7%	177	18.1%	-10	-5.6%
法人税等	24	2.6%	53	5.4%	+28	+115.6%
法人税等調整額	0	-0.1%	-7	-0.7%	-6	-
四半期純利益	164	17.2%	131	13.4%	-32	-19.9%
減価償却費(製造原価+販管費)	14	1.5%	10	1.1%	-3	-25.3%



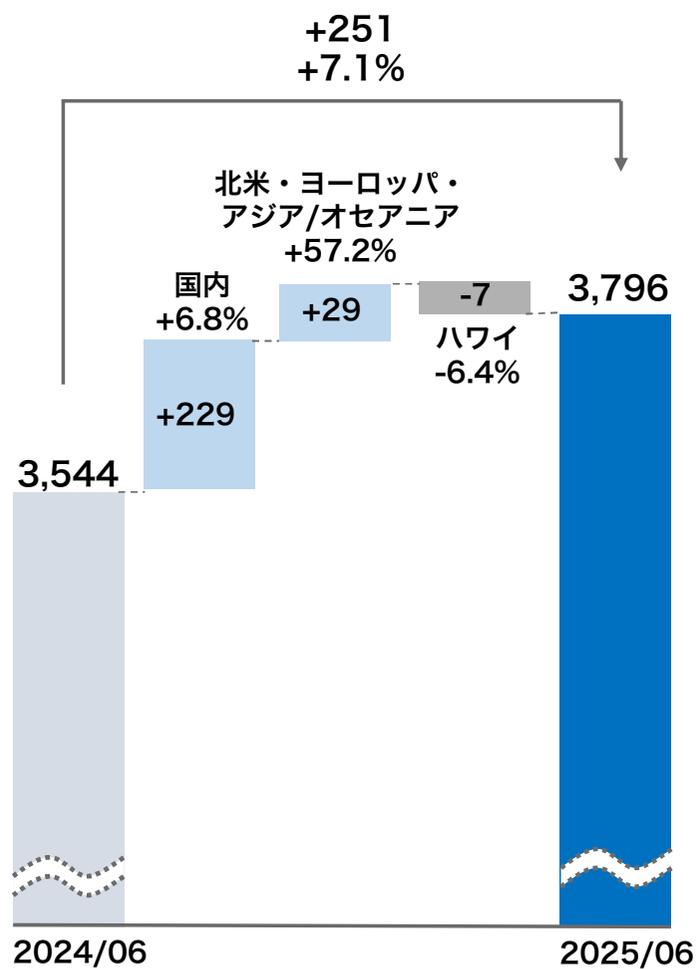
売上高・営業利益増減要因

(単位：百万円)

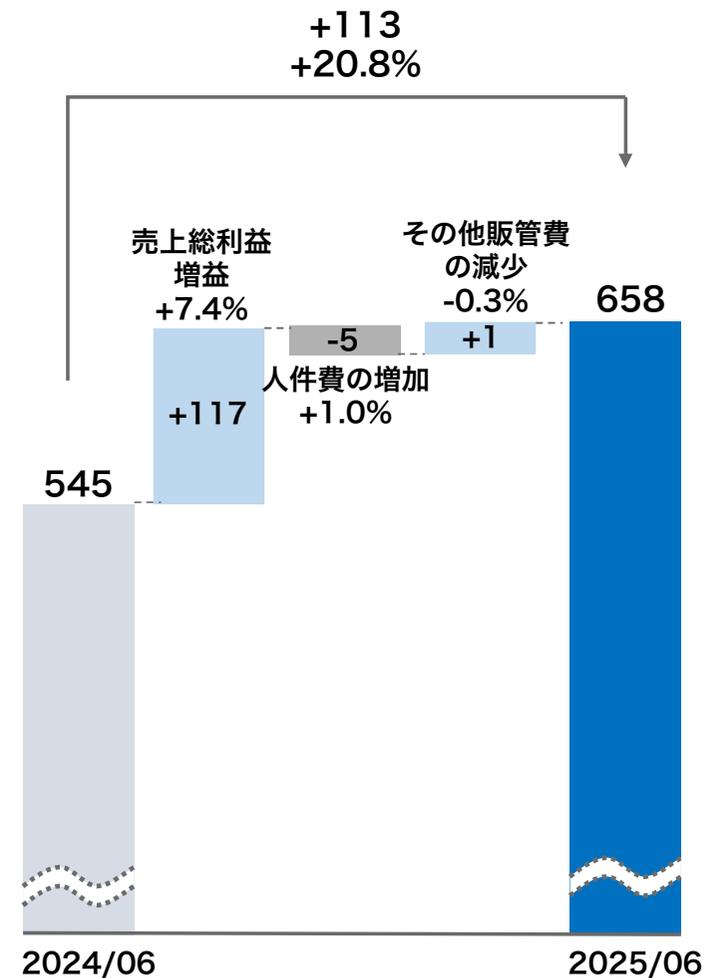
◆売上高(商品別)



◆売上高(エリア別)



◆営業利益



商品別売上高・エリア別売上高/デジタル製造比率の推移

(単位：百万円)

◆商品別売上高

	2024年6月期 (2023年7月-2024年6月)		2025年6月期 (2024年7月-2025年6月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	3,544	100.0%	3,796	100.0%	+251	+7.1%
矯正歯科技工物売上高	2,993	84.4%	3,156	83.1%	+163	+5.5%
アナログ製造 ※1	1,912	54.0%	1,975	52.0%	+62	+3.3%
デジタル製造 ※2	1,080	30.5%	1,180	31.1%	+100	+9.3%
商品売上高	530	15.0%	613	16.2%	+83	+15.8%
その他売上高	21	0.6%	26	0.7%	+5	+23.2%

アナログ製造	63.9%	62.6%
デジタル製造	36.1%	37.4%

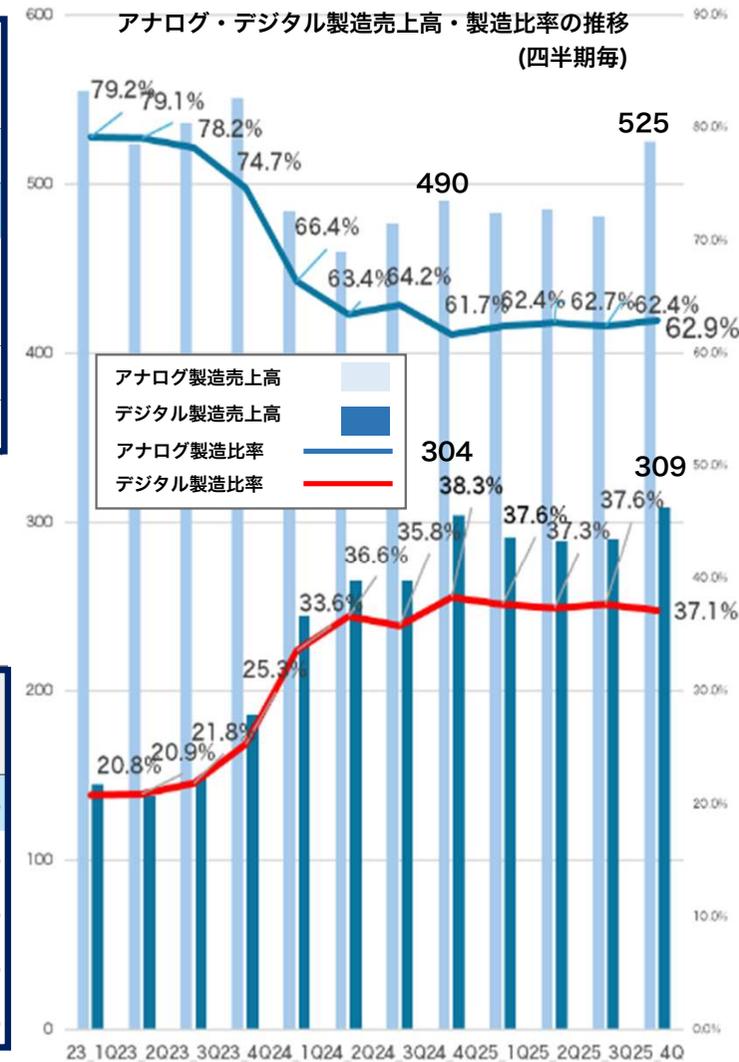
※1 アナログ製造：矯正プレート、ファンクショナルワイヤー装置、リテーナー(保定装置)、スタディモデル(石膏模型)等

※2 デジタル製造：アライナー(マウスピース)型矯正装置、デジタルセットアップ矯正装置、デジタルサービス等

◆エリア別売上高

	2024年6月期 (2023年7月-2024年6月)		2025年6月期 (2024年7月-2025年6月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	3,544	100.0%	3,796	100.0%	+251	+7.1%
国内売上	3,381	95.4%	3,611	95.1%	+229	+6.8%
海外売上高 ※3	163	4.6%	185	4.9%	+21	+13.5%
アソインターナショナル	50	1.4%	80	2.1%	+29	+57.2%
アソインターナショナルハイ	112	3.2%	105	2.8%	-7	-6.4%

※3 海外売上：米国ハワイ州、米国本土、オーストラリア、ベトナム、欧州等



2025年6月期末連結貸借対照表サマリー

(単位：百万円)

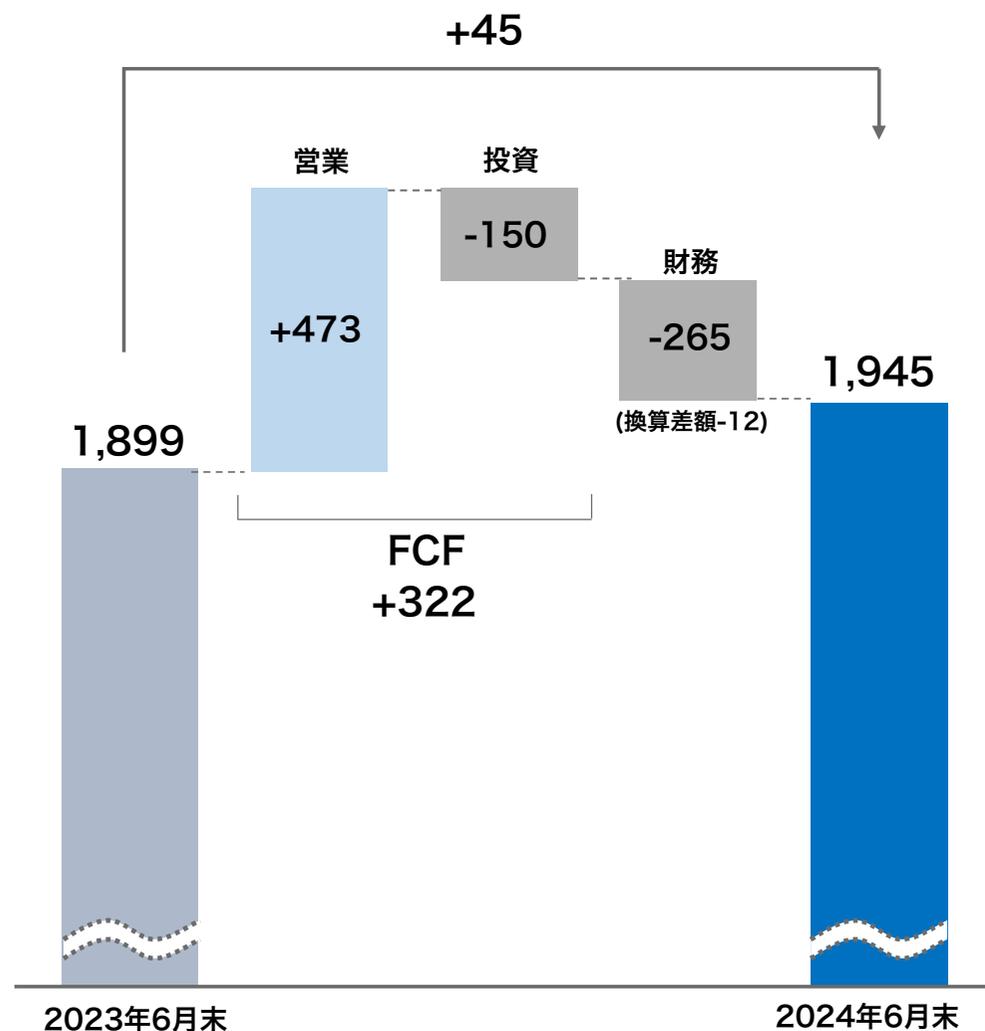
科目	2024年期末 (2024年6月末)		2025年期末 (2025年6月末)		前期末比		科目	2024年期末 (2024年6月末)		2025年期末 (2025年6月末)		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減比		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減比
流動資産	2,580	81.0%	2,627	78.9%	+46	+1.8%	流動負債	404	12.7%	388	11.7%	-16	-4.1%
当座資産	2,383	74.9%	2,454	73.7%	+70	+3.0%	買掛金	139	4.4%	119	3.6%	-20	-14.9%
現預金	1,899	59.7%	1,945	58.4%	+45	+2.4%	契約負債(定額矯正装置契約残)	19	0.6%	21	0.7%	+2	+12.2%
売掛金	492	15.5%	517	15.5%	+25	+5.2%	その他の流動負債	245	7.7%	247	7.4%	+1	+0.8%
たな卸資産	137	4.3%	129	3.9%	-7	-5.5%	固定負債(資産除去債務)	17	0.5%	12	0.4%	-4	-26.3%
商品	43	1.4%	43	1.3%	+0	-0.4%	負債合計	421	13.2%	400	12.0%	-20	-5.0%
製品	3	0.1%	2	0.1%	-1	-38.9%	株主資本	2,773	87.1%	2,946	88.5%	+173	+6.2%
材料・仕掛品	90	2.8%	84	2.5%	-6	-6.7%	資本金	354	11.1%	356	10.7%	+1	+0.5%
その他の流動資産	59	1.9%	42	1.3%	-16	-28.2%	資本剰余金	344	10.8%	346	10.4%	+1	+0.5%
固定資産	603	19.0%	703	21.1%	+99	+16.5%	利益剰余金	2,073	65.1%	2,243	67.3%	+169	+8.2%
有形固定資産	104	3.3%	94	2.8%	-10	-9.9%	(自己株式)	-	-	-0	0.0%	-0	-
無形固定資産	43	1.4%	33	1.0%	-9	-22.2%	その他包括利益累計額	-10	-0.3%	-16	-0.5%	-6	+62.4%
投資その他資産	456	14.3%	575	17.3%	+119	+26.2%	純資産合計	2,763	86.8%	2,930	88.0%	+166	+6.0%
資産合計	3,184	100.0%	3,330	100.0%	+145	+4.6%	負債・純資産合計	3,184	100.0%	3,330	100.0%	+146	+4.6%
							1株当たり純資産(円)	282.86		299.29		-	
							自己資本比率(%)	86.8%		88.0%		-	

連結キャッシュフロー計算書サマリー

	2024年6月期 (2023年7月-2024年6月)	2025年6月期 (2024年7月-2025年6月)	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	473	+36
税金等調整前当期純利益	555	608	+53
減価償却費	46	44	-1
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 83	△ 30	+52
棚卸資産の増減額 (△は増加)	41	6	-34
仕入債務の増減額 (△は減少)	6	△ 20	-27
為替差損益 (△は益)	△ 10	△ 15	-5
法人税等の支払額	△ 178	△ 165	+12
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16	6	-9
その他	42	39	-2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 179	△ 150	+28
有価証券の取得による支出	△ 100	△ 84	+15
有形固定資産の取得による支出	△ 50	△ 29	+21
その他	△ 28	△ 36	-8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 93	△ 265	-171
ストックオプションの行使による収入	8	3	-4
自己株式の取得による支出	-	-0	-0
配当金の支払額	△ 101	△ 268	-166
現金及び現金同等物にかかる換算差額	8	△ 12	-20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172	45	-126
現金及び現金同等物の期首残高	1,727	1,899	+172
現金及び現金同等物の期末残高	1,899	1,945	+45

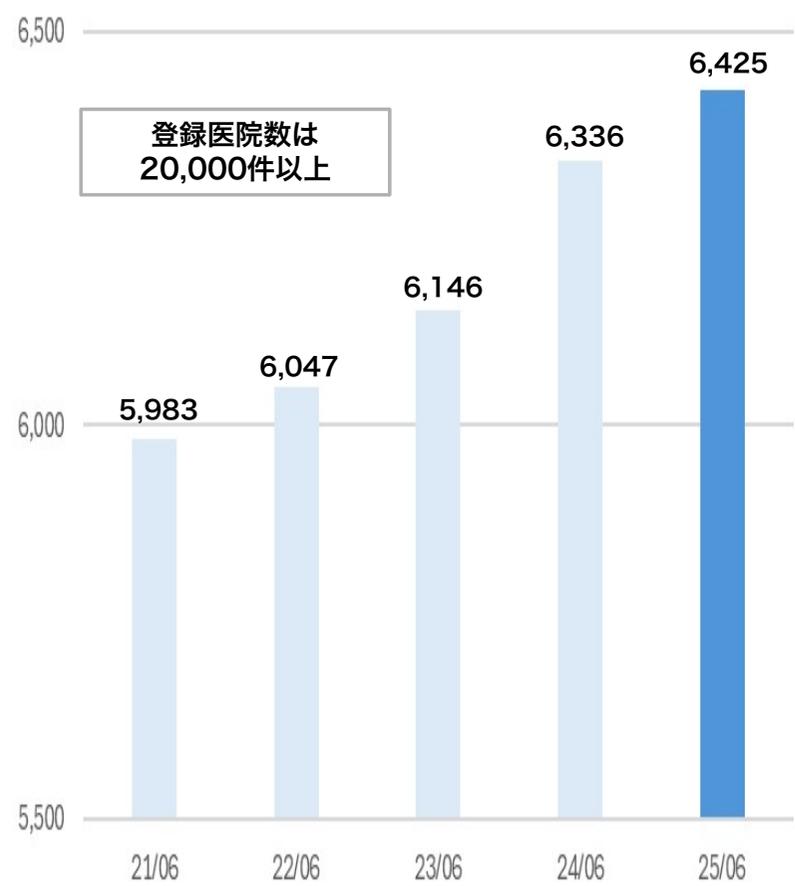
現金及び現金同等物の期末残高とキャッシュフロー

(単位：百万円)

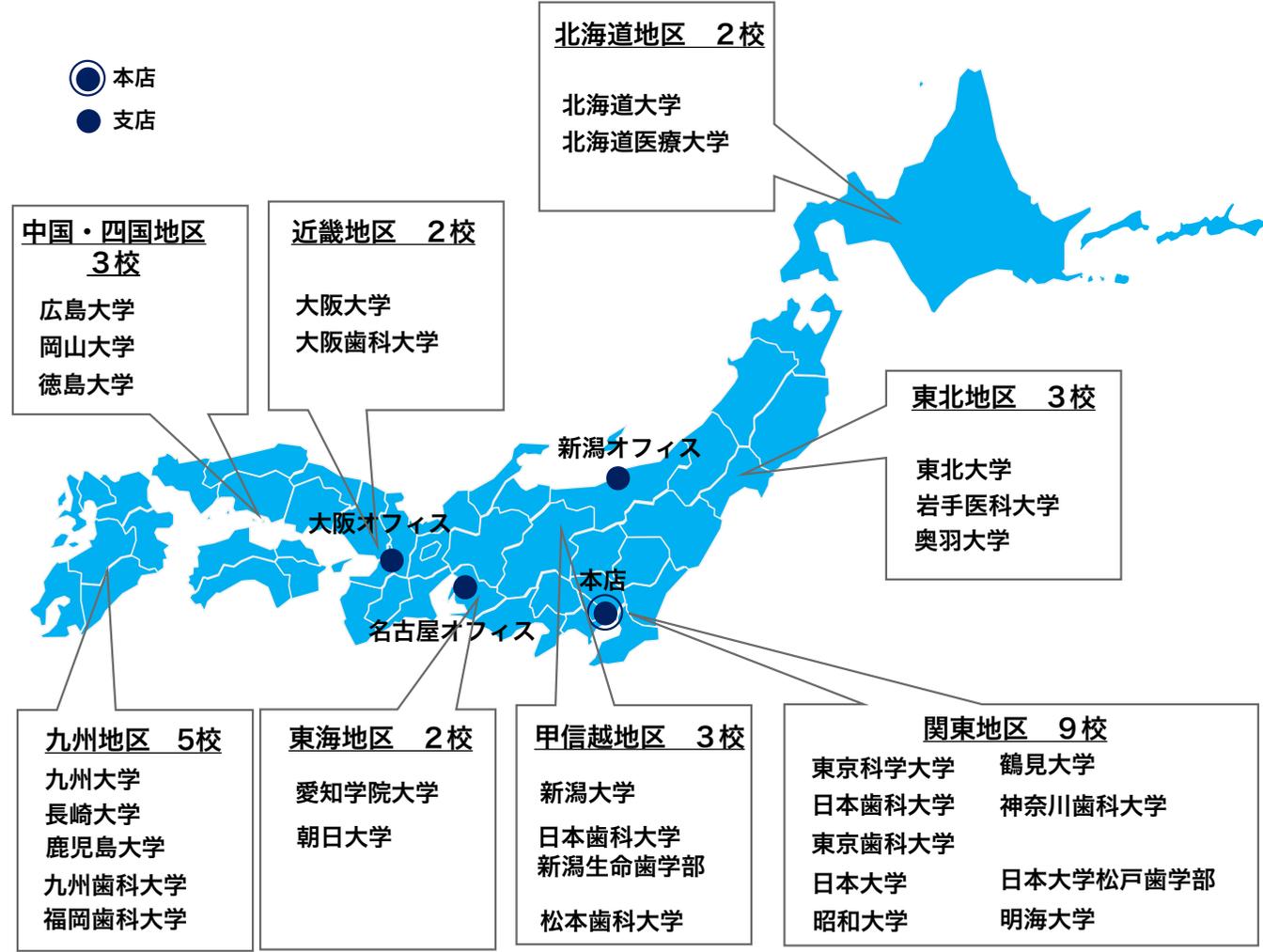


国公立大学29校すべての歯学部と6000超の歯科医院が顧客

◆アクティブユーザーの推移



◆日本国内に歯学部は29校





2026年6月期の施策と業績見通し



①連結売上高4,013百万円 前年比216百万円増収 +5.3%

(1)国内事業 前年比+5.0%

(事業環境)

- ・社会的審美意識の高まり、未病改善への取組みの拡大を背景に、歯科矯正治療の大きなトレンドは変わらぬものの、2020～22年頃の特需が一巡し、現在踊り場を形成と認識、国内事業環境として今年度の業界全体の大きな拡大は見込んでいない
- ・歯科医院の収益機会(補綴治療の減少による)としての歯科矯正治療導入は顕著であり、GP(一般歯科医)が増加傾向にある
- ・アライナー競争が激化(外資系アライナーメーカー等)する中、矯正のニーズを掘り起こしており、アライナー矯正を希望する患者が歯科医の診断によりブラケット矯正治療等をスタートさせるケースが多く見受けられ、IDBやアライアンスへの一定の相乗・波及

(矯正装置製品・商品/アライアンス)

- ・2025年3月レジン材料が国内医療機器認証を受け、LuxClear(形状記憶アライナー)の本格的販売拡大、既存外資系アライナーに挑む
- ・歯科業界全般のDX化は加速、引き続き3Dプリンター等デジタル商材の売上拡大を見込む。
LuxCreo社”iLux Pro Dental”は販売拡大期、年後半より新型スキャナーの販売開始予定
- ・国内外有力矯正装置サプライヤーとの協業・アライアンスにより、新製品取扱検討、下半期以降業績寄与

(啓発セミナー・学会)

- ・DX化製品・ソリューションの啓発セミナー活動の強化継続、2026年3月KOLによるハワイ・ホノルルでの大型セミナー開催決定
- ・日本矯正歯科学会や矯正関連団体学術会への継続参加、アカデミックリレーションを継続

(2)海外事業 前年比+20.0%

- ・北米中心のマーケティング活動を継続、有力大学歯学部開拓継続及び西海岸地区有力矯正歯科医からの受注拡大を見込む
- ・ユーロ圏(オランダ・ドイツ・イタリア・フランス)トップ外交を7月に実施、海外商圏を拡大

2026年6月期戦略サマリー【利益計画】

②連結営業利益746百万円 前年比87百万円増益 増益率+13.3% 売上高営業利益率18.6%(1.3%改善)
 同当期純利益504百万円 前年比65百万円増益 増益率+15.0% 売上高当期純利益率12.6%(1.1%改善)

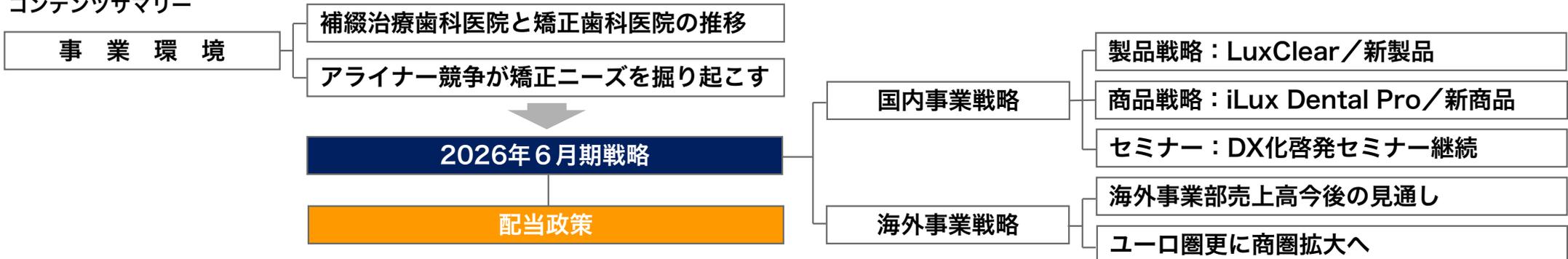
(1)売上原価・売上総利益 前々期～前期にて製造原価は売上比2%程度低下、今期連結売上総利益1.7%改善を見込む

- ・為替・資材値上げの影響からの材料費高騰は一巡、製造原価における材料費の割合低下を見込む
- ・デジタル製造製品の拡大から製造原価における個別固定費(労務費)の割合低下を見込む
- ・アソインターナショナルマニラでの製造キャパシティ拡大継続
- ・今期設備投資計画 50百万円(前期29百万円)【3Dプリンター、メタルプリンター、ワイヤーベンディングマシン、ソフトウェア】
- ・想定為替レート ドル 145円/\$ ユーロ 172円/€

(2)販管費・営業利益・営業外収益

- ・売上高販管費比率は前期同等を計画、売上高増収基調に伴い固定費相対的低下
- ・ベースアップ及び人財投資等人件費の上昇を見込む
- ・”金利のある世界”、余裕資金について短期元本確保型金融商品等を積極検討

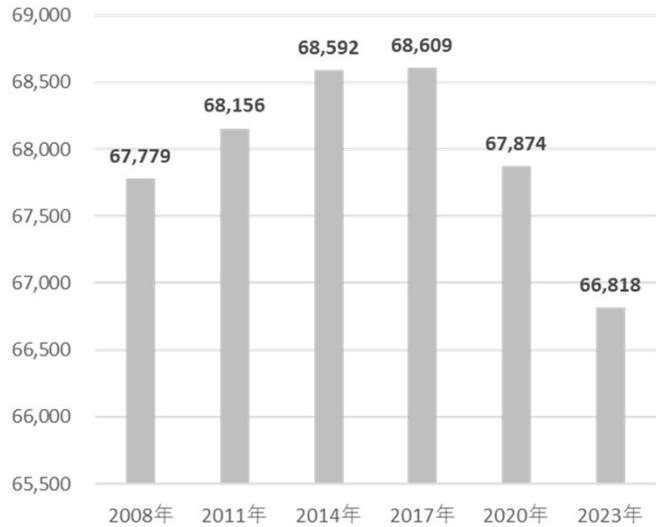
コンテンツサマリー



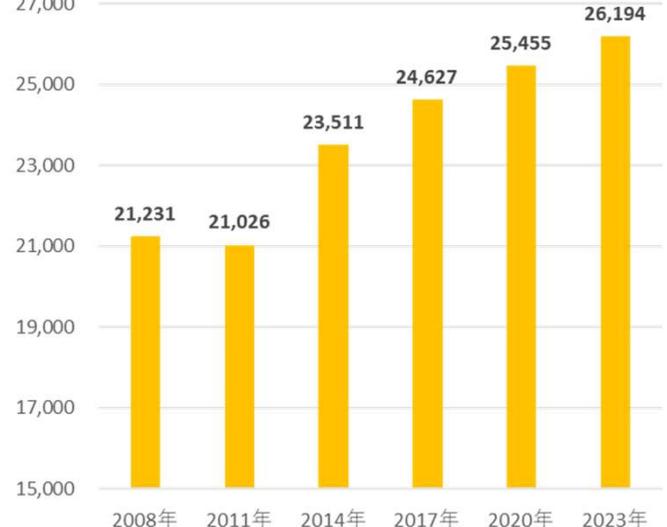
日本の歯科医院及び矯正に携わる歯科医院の推移

- ①日本国内において矯正に携わる歯科医院が約**26,000**件存在する（矯正専門歯科8,000件、一般歯科医(GP)18,000件）
2017年から6年間で**1,500**院以上増加、欠損補綴治療の減少により今後も矯正を行う医院は増加する傾向にある
 - ②歯科技工士人口は高齢化と従事者減による減少傾向が続き、特に矯正歯科技工士は稀有な存在（矯正装置製造可能技工士約1000名）
- ➡ 歯科医院間の競争は激化するも、業界全体を押し上げ、歯科矯正技工の繁忙は継続するものと思慮する**

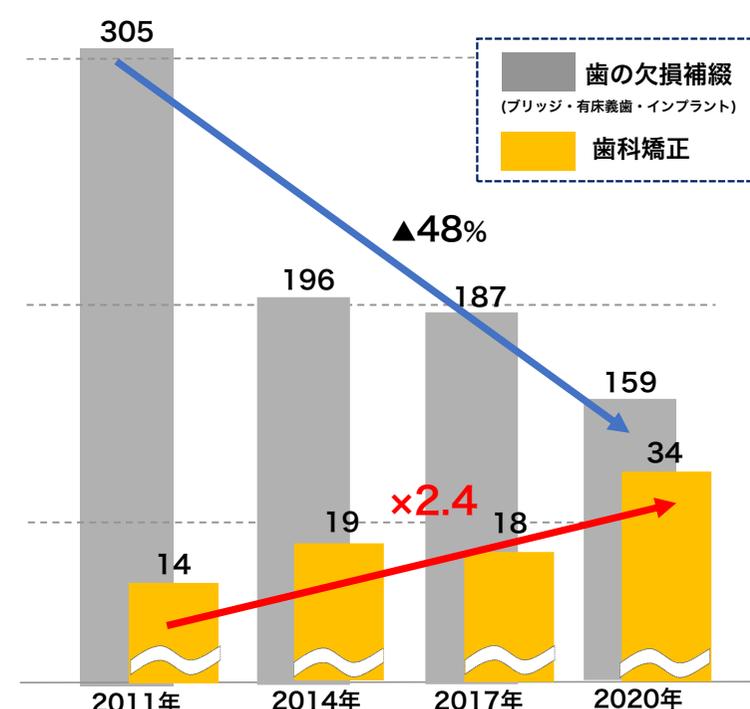
◆歯科医院数の推移 (院)



◆矯正に携わる医院数の推移 (院)



◆歯の欠損補綴、歯科矯正患者数の推移 (千人)



	2017年	2020年	増減	2023年	増減	2017年→2023年
歯科診療所	68,609	67,874	-735	66,818	-1,056	-1,791
歯科	67,145	66,338	-807	65,230	-1,108	-1,915
矯正歯科	24,627	25,455	+828	26,194	+739	+1,567
小児歯科	43,561	43,909	+348	43,754	-155	+193
歯科口腔外科	25,708	27,235	+1,527	28,238	+1,003	+2,530

矯正専門歯科

8,000

一般歯科医 (GP)

18,194

厚生労働省：令和5年医療施設調査より当社作成

2011~20年の10年間に於いて、機能回復目的の「歯の欠損補綴(ほてつ)」患者が半減する中、歯科矯正患者数は倍増

厚生労働省「患者調査」平成23年、26年、29年、令和2年より当社作成

アライナー競争が激化する中、矯正のニーズを掘り起こす

- ①日本国内で治療可能なアライナーブランドは20種類以上、外資系企業を中心としてマーケットは激化(医療機器ではない雑品)
- ②アライナー矯正は患者にとって治療中の自由度が高く、動画やSNSを中心とした様々なプロモーションからの誘因により若年層を中心とした患者が増加、歯科矯正全体のニーズを掘り起こしている
- ③症状によってはアライナーのみでは完治しないケースも多く、歯科医の診断によりブラケット矯正治療等をスタートさせるケースが見受けられ、IDBやアプライアンスへの一定の相乗・波及が認められる

▶ 当社アライナーは歯科技工物であり、歯科技工士法上HP以外の広告宣伝に制限あるが、矯正装置製造の王道を行く

(ご参考) 公益社団法人日本矯正歯科学会 ポジションステートメント マウスピース型矯正装置による治療に関する見解第2版 https://www.jos.gr.jp/asset/info_20220715.pdf

マウスピース矯正ブランドカオスマップ 2022

Oh my teeth



© 2022 Oh my teeth, Co.

株式会社Oh my teeth 2022年12月2日リリース“マウスピース矯正ブランドカオスマップ2022より引用



各社HPより画像引用

製品戦略：形状記憶ライナー“LuxClear”の拡大販売／新製品

- ①LuxCreo社が提供する形状記憶レジンが管理医療機器認証(クラスII)を取得、形状記憶ライナー“LuxClear”を正式にローンチ（前期4月）、今期より主力ライナーとして販売
- ②形状記憶ライナーは既存ライナーと一線画し、機能的優位性等を啓発するセミナーを継続開催
- ③ライナープロモーションの波及効果からIDB製品の販売拡大も見込む
- ④国内外有力矯正装置サプライヤーとの協業・アライアンスを検討、下半期以降新製品発売へ



(ライナー・マウスピース型矯正装置)



(リテーナー・保定装置)

患者様のメリット

- ①患者様自身による着脱が楽・装着感が良い
- ②痛くない・よく動く
- ③衛生的・高耐久性



歯科医のメリット

- ①操作性に優れている
- ②治療期間の短縮に期待できる
- ③医院経営の底上げが可能

技工所(製造者)のメリット

- ①ライナー製造工程の時間短縮・費用削減歯科技工士の労力減少
レジンによる歯形模型製作、プレート圧着作業、トリミング(整形)工程不要
- ②歯形模型の廃棄なし

歯科矯正用レジン材料（管理医療機器・認証番号:307AKBZX00029000）

レジン(Resin)：液状の樹脂素材

LuxClear SETP1：2024年11月



close diastema
level and align



LuxClear SETP10：2025年3月



IDB（インダイレクト・ボンディング）製品



ラビアル(唇側矯正装置)



リンガル(舌側矯正装置)



- ①3DプリンターiLuxPro Dentalの販売拡大期、一部の有力歯科医はインハウス(歯科医院内)製造志向強い
- ②レジン(アライナー原材料)の管理医療機器クラスII 認証取得(4月1日公表)で販売に弾み、レジンも永劫独占供給
- ③フェイスキャナーや歯科用CT等デジタル機器の品揃えを強化

iLux Pro Dental

- ①ダイレクトでアライナーをプリント
- ②素材(レジン)は形状記憶素材
- ③独自のデジタルポリッシング技術
- ④UIや操作に優れたソフトウェア
- ⑤アライナー以外の通常3Dプリント可能



DX化製品・ソリューションの啓発セミナー活動の強化継続

- ① 歯科医師向け矯正技術向上のための啓発活動である定期的セミナーを継続、世界中のKOL(Key of Leader)を招聘
- ② ASOデジタルショールーム/カンファレンスルームオープン(中央区銀座3丁目・並木通り)
- ③ 2026年3月10日~11日”Digital Orthodontics Global Summit in HAWAII開催決定



ASO for the Next
LuxCreo * ASO 共同企画

ダイレクトプリントアライナー導入のための

Active Memory
4D Aligner™
マスターコース

最新技術を探った3DプリンターLuxCreoによる
Active Memory 4Dアライナーを科学的基礎から
臨床応用まで体系的に学ぶマスターコース

Topics

- ・パッシブアライナーからアクティブアライナーへの進化
- ・材料革新と治療法の変化
- ・形状記憶素材のブレイクスルーとその応用
- ・形状記憶素材と力の持続性の概要
- ・アライナーの力学的な作用機序
- ・アクティブとパッシブの力学の違い
- ・予備性や治療結果への影響、快適性の比較
- ・患者誘導と治療過程の体系的アプローチ
- ・絶対的/相対的矯正、3D画像・咬合平面・歯周群像の活用
- ・咬合分析 (静的・動的咬合、咬合平面、縦的次元)
- ・デジタルワークフローの作成とハイブリッド治療の考え方
- ・前歯部の力学アプローチ
- ・自費部・被矯正者への対応

日標: 2025年9月11日 (木)
10:00-17:00

会場: 東京都内
受講料: 45,000円 (税込)

お申し込みはこちらから

ASO for the Next

矯正歯科界のスペシャリスト ハワイに集結

**Digital Orthodontics
Global Summit
in HAWAII**

日標: 2026年3月10日・11日 (2日間)

会場: ホノルル周辺 (会場は決まらぬ可能性があります。)

定員: 50名 (先着順)

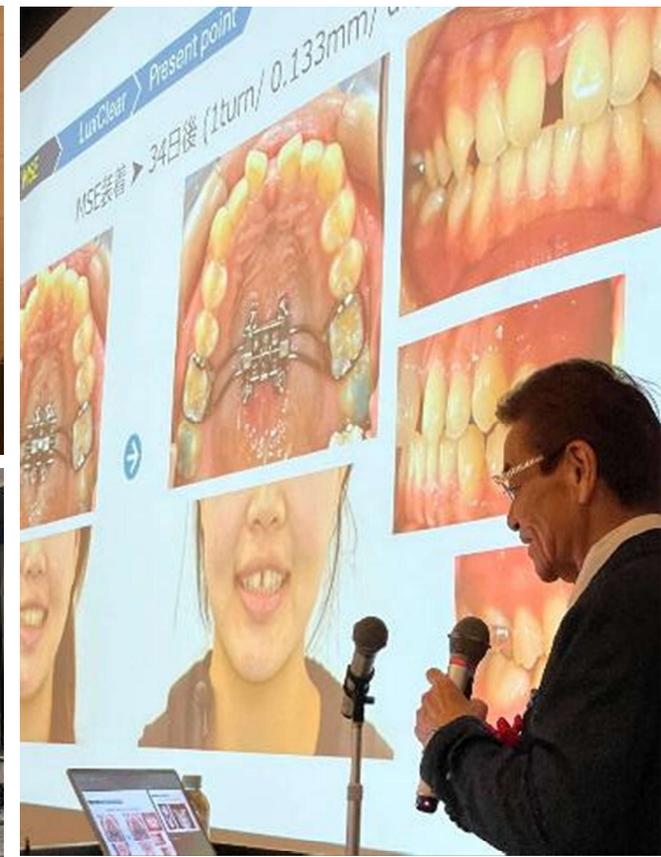
参加費: 110,000円 (税込) ※両日両会場参加費

お申し込みはこちらから

お問い合わせ: 株式会社アソインターナショナル
〒104-0081 東京都中央区銀座2-11-2 中央ビル 2F TEL: 03-3547-0471/FAX: 03-3547-0475
E-mail: aso@aso-inter.co.jp URL: www.aso-inter.co.jp

日本3Dプリンティング矯正歯科学会第4回学術大会in東京(2025年7月20~21日) ASO International, Inc. Orthodontic Laboratory Services

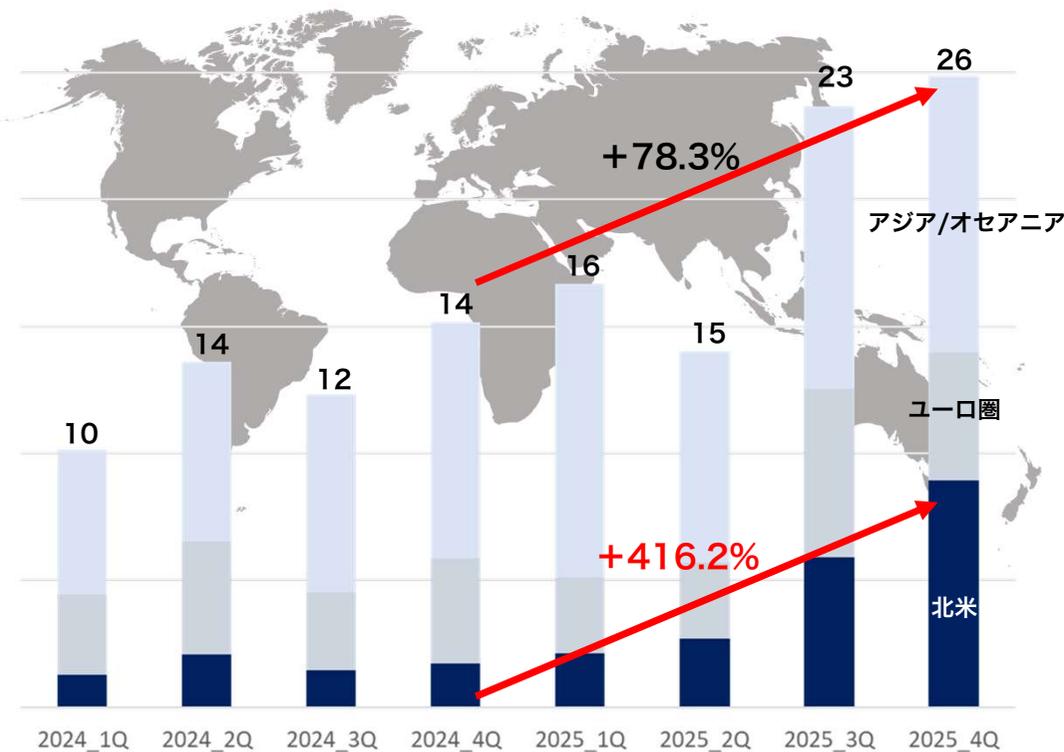
- ①3Dプリンティングと関連の学理・技術・臨床応用の進歩、普及、発展、国民の口腔衛生の向上に寄与することを目的として設立
- ②ダイレクトプリントアライナー症例研究第一人者であるDr. Kelvin Wen-Chung Changを招聘し特別講演を実施
- ③代表阿曾は学術大会顧問、当社は当学会の賛助会員として協賛、最新の3Dプリンターや周辺機器等を展示・紹介



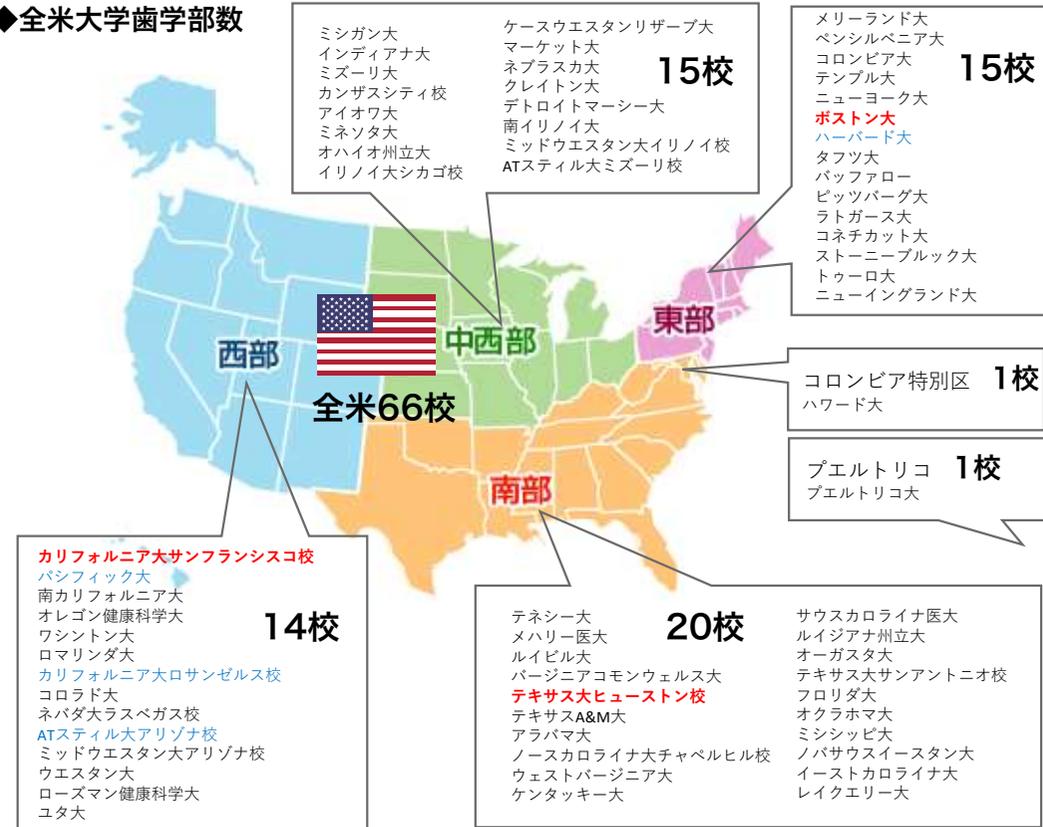
海外事業戦略①：米国本土での営業を拡大

- ①海外事業部売上高前年比57.2%増収、第4四半期比較78.3%増収、北米エリア416.2%増収、引き続き北米での受注強化
- ②今期海外売上高は+20%増収を計画（海外事業部+50%増収、アソハワイ±0%）、
- ③前期はUCSF、UTHealth Houston、Boston Univ3校を開拓、見込み顧客は**全米66校**の大学歯学部と有力歯科医院
- ④米国有力企業とのアライアンスを検討、新製品ローンチと米国販売チャネルを検討

◆海外事業部売上高推移（米国ハワイ州を除く海外売上高）



◆全米大学歯学部数



海外事業戦略②：ユーロ圏更に商圏拡大へ

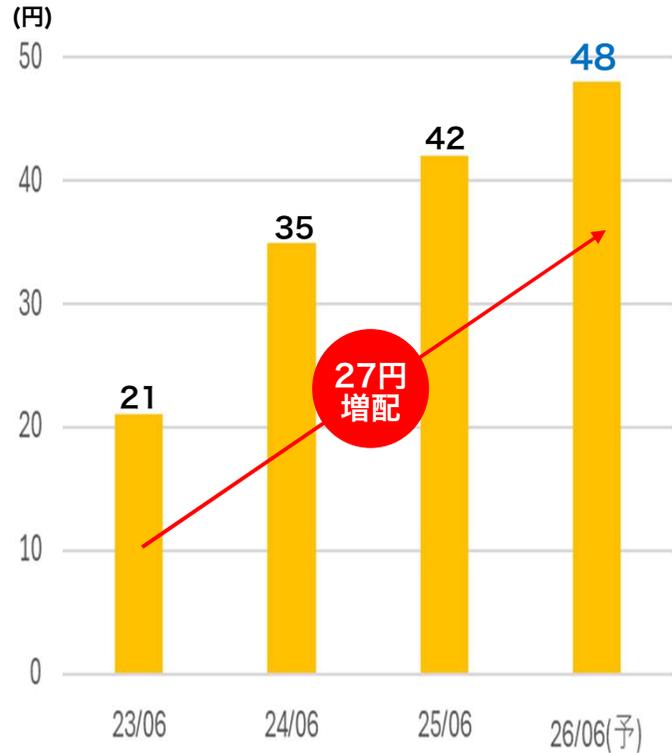
- ①7月、ユーロ圏ドイツ、オランダ、フランス、イタリアへトップ外交を実施、北米に続き商圏の拡大が目的
- ②ユーロ圏においても審美意識高く歯科矯正市場は拡大中、ブラケット・ワイヤー矯正装置が主流
- ③地元有力歯科技工所とのアライアンスを検討、マニラ工場の稼働率を更に向上(現在2勤務体制)



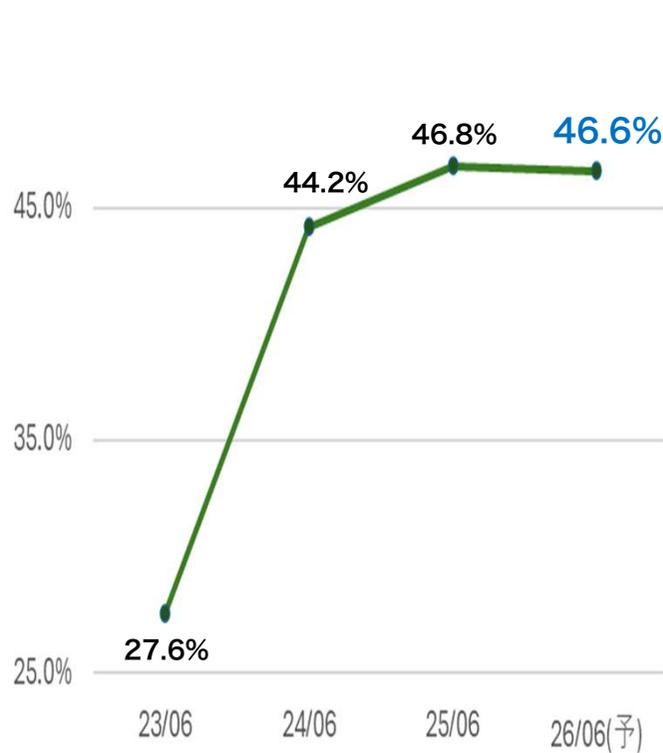
- ① 当期配当金は年間24円を予定（中間12円、期末12円）前期比3円増配、23年6月期(IPO直後)比27円増配(配当額2.3倍)
- ② 配当性向50%程度を目途とした株主還元政策を継続、業績推移が計画に対し順調であれば更に増配の余地
- ③ 株主資本配当率5%以上を持続的に目標とする(上場企業中央値は2%、平均値は3%と認識)

(2025年8月8日開示 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について2025年6月期更新版 もご参照ください)

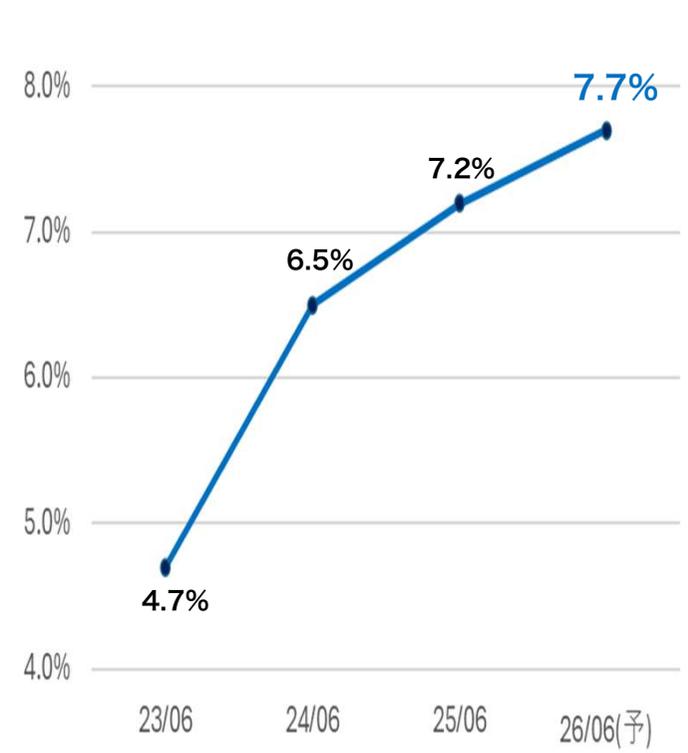
◆年間1株当たり配当金(IPO時100株保有)の推移



◆配当性向(PR)の推移



◆株主資本配当率(DOE)の推移



2026年6月期通期業績見通し

- ①国内歯科矯正治療の大きなトレンドは変わらず、歯科医院の収益機会としての矯正治療への参入顕著
ライナー競争が若年層患者の矯正ニーズを掘り起こし、矯正装置全体へ波及
- ②形状記憶ライナー”LuxClear”及び3Dプリンター”iLux Dental Pro”の販売拡大期
有力企業とのアライアンスによる新製品/新商品の下半期ローンチにも期待
- ③北米中心のマーケティング活動を継続、ユーロ圏も受注強化しグローバル全方位型営業で海外売上比率の向上を目論む

科目(百万円)	2025年6月期 (2024年7月-2025年6月)		2026年6月期(予) (2025年7月-2026年6月)		前年比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	3,796	100.0%	4,013	100.0%	+216	+5.7%
営業利益	658	17.3%	746	18.6%	+87	+13.3%
経常利益	631	16.6%	725	18.1%	+93	+14.9%
当期純利益	438	11.6%	504	12.6%	+65	+15.0%
1株当たり利益 (円)	44.9		51.5		-	
1株当たり純資産 (円)	299.3		326.2		-	
1株当たり配当金 (円)	21.0		24.0		中間12円 期末12円	
ROE(自己資本利益率)(%)	15.4%		16.5%		-	
PR(配当性向)(%)	46.8%		46.6%		-	
DOE(株主資本配当率)(%)	7.2%		7.7%		-	
想定為替レート						
ドル	149.75		145.00		-	
ユーロ	162.72		172.00		-	



Appendix

会社概要



会社概要 (2025年7月1日現在)

会社名	株式会社アソインターナショナル 英名：ASO INTERNATIONAL, INC.		
代表者	代表取締役社長 阿曾 敏正 (あそ としまさ)		
創業・設立	創業1982年4月 法人設立1988年5月		
本社所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目11番8号		
URL	https://aso-inter.co.jp/		
国内支店	新潟オフィス 大阪オフィス 名古屋オフィス		
子会社	フォレストデント・ジャパン株式会社 ASO INTERNATIONAL USA (米国現地法人) ASO INTERNATIONAL HAWAII (米国現地法人) ASO INTERNATINAL MANILA (比国現地法人)		
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 【証券コード：9340】		
資本金	356百万円		
事業内容	歯科技工所の経営並びに歯科材料の輸入及び販売等		
役員	代表取締役 取締役 取締役 取締役(社外)	阿曾 敏正 内山 淳 桑原 勉 葛西 一貴	取締役(社外) 田内 優悟 監査役(常勤) 永瀬 巖 監査役(社外) 静 健太郎 監査役(社外) 奥村 祥樹
連結従業員数	440名 (正社員・派遣社員パートタイマー含む、役員除く)		
歯科技工士及びパートナー数	歯科技工士数	56名	外部パートナー 55社
連結総資産 / 純資産	連結総資産3,330百万円 連結純資産2,930百万円		

経営方針

「高品質」「高付加価値」を追及し、全従業員の人格・品格形成に努め、社会に役立つ企業として持続成長する。

審美追及・未病改善に資し、人々が健康で明るく、**QOL**(Quality of Life)の向上に貢献する。



経営理念

Professionalな最新技術を
世界から日本へ、
日本から世界へ

ビジョン

売上高海外比率50%超の**シン**・歯科矯正
グローバル企業になる

ミッション

世界規模で歯科矯正業界に貢献する企業になる

組織図 (2025年7月1日現在)

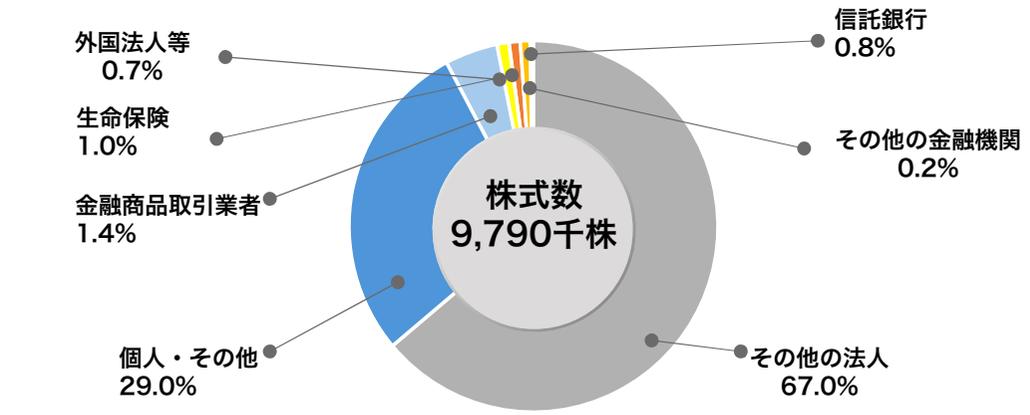


株式分布状況 (2025年6月30日現在)

◆所有者別状況

項目区分	株式数		株主数	
	(株)	%	(名)	%
政府・地方公共団体	-	0.0%	-	0.0%
金融機関	銀行	-	-	0.0%
	信託銀行	79,100	1	0.0%
	生命保険	97,400	1	0.0%
	損害保険	-	-	0.0%
	その他金融機関	16,100	1	0.0%
	金融商品取引業者	134,676	1.4%	21
その他の法人	6,555,000	67.0%	21	0.8%
外国法人等	68,201	0.7%	20	0.8%
個人・その他	2,839,673	29.0%	2,428	97.4%
自己株式	50	0.0%	1	0.0%
合 計	9,790,200	100.0%	2,494	100.0%

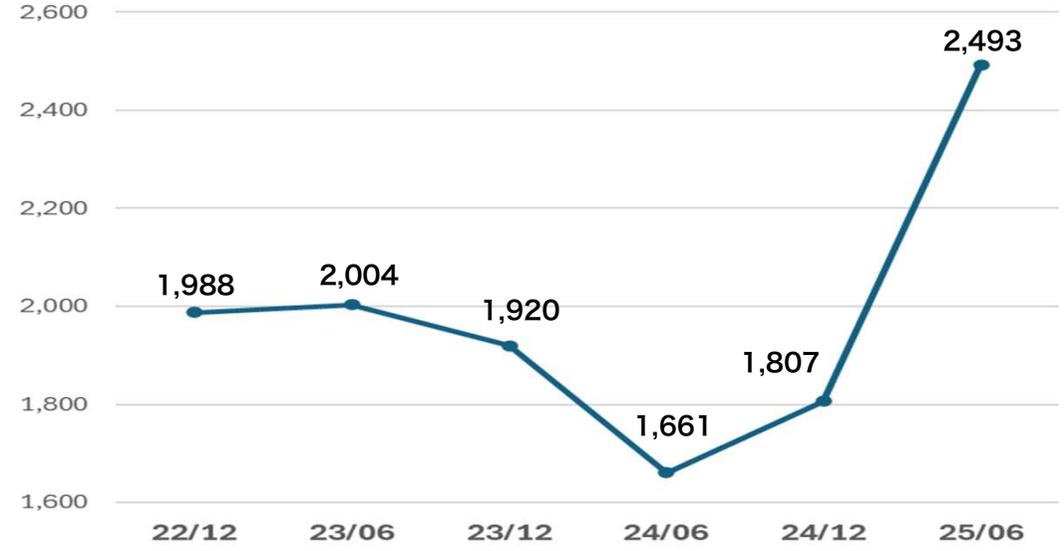
株主数	2,493名 (自己株式除)
議決権あり株主数	2,130名
総議決権数	9,785,700株



◆大株主上位10位

順位	株主名	株式数	%
1	株式会社ASO	5,600,000	57.2%
2	阿曾敏正	799,400	8.2%
3	ASG Japan株式会社	331,000	3.4%
4	上田八木短信株式会社	312,900	3.2%
5	光通信株式会社	270,400	2.8%
6	加藤 英次	121,000	1.2%
7	日本生命保険相互会社	97,400	1.0%
8	株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)	79,100	0.8%
9	田中 博	71,200	0.7%
10	吉川 潤	60,000	0.6%

◆株主数の推移



免責事項

- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- 本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- なお本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- 今後リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。



X(旧Twitter) ASO公式アカウント開設
株式・株価に関する情報をお届けいたします。
みなさまのフォローをお待ちしております。

@ASO_9340



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

お問い合わせ

株式会社アソインターナショナル 管理部
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8
email : ir@aso-inter.co.jp

【東京証券取引所スタンダード市場：9340】